

人事委員会議事録（第1676回）

1 開催日時

令和4年1月26日（水）15：00～16：40

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

| | |
|---------------|-------|
| 委員長 | 松田直人 |
| 委員 | 鈴木尉久 |
| 委員 | 長尾真 |
| 事務局職員 | 西村嘉浩 |
| 任用課長 | 森本剛史 |
| 給与課長 | 吉川昭裕 |
| 任用課副課長兼給与課副課長 | 岡野揮代美 |

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1675回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

審査請求の裁決の件（令和3年（不）第1号事案）

任用課長が、令和3年7月5日付け審査請求（令和3年（不）第1号事案）の裁決書（案）を説明し、審議の結果、原案を一部修正の上、裁決した。

第3号議案

職員採用試験の見直し（令和4年度）の件

任用課長が、標記試験の見直し内容を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

経験者採用試験と社会人経験者採用試験の統合後の試験日程は、他の自治体の日程を考慮して設定しなくてよいのか。

（事務局）

従前から、両試験とも各自治体が独自の日程で実施しており、日程を合わせることは考えていない。

（委員）

特別枠で合格発表を前倒ししても、国や民間に流れるのを防ぐには、採用も前倒しする必要があるのではないか。

(事務局)

辞退防止の観点からも、既卒者で特別枠に合格した者は、必要に応じて10月等の前倒し採用を検討する。

(委員)

技術系職種は全て特別枠で実施すればよいのではないか。

(事務局)

職種全体を特別枠の日程で実施すると、通常の日程を想定して準備してきた受験希望者の混乱を招くおそれがあるため、令和4年度は採用予定数が2分割できる規模の職種について、通常枠と特別枠の2回の試験を実施する。

(委員)

障害者採用試験について、障害種別ごとの採用ができるよう検討いただきたい。

(委員)

他府県では、一般事務職の特別枠採用試験も実施しており、本県でも一般事務職での実施を検討していただきたい。また、デジタル化に対応できる人材の確保方策も検討が必要である。

報告事項 1

採用試験広報活動計画（令和4年度実施試験向け）

任用課長が、標記広報活動の計画内容を説明した。

報告事項 2

警察官採用試験（令和4年度）の実施

任用課長が、標記試験の実施予定について報告した。

(委員)

試験日の一部を大阪府警と同一日程にするのはなぜか。

(事務局)

受験者数は確保しつつ、辞退率を抑えるため、3回すべてを他府県と併願可能な日程にするのではなく、1回は本県との併願者が多い大阪府警と同一の日程とした。

(委員)

体力検査の項目は以前から20mシャトルランのみだったのか。

(事務局)

シャトルラン、握力を含めた5種目を実施していたが、新型コロナウイルス感染防止対策として身体的接触を減らすため、令和2年度からシャトルランのみとした。しかし、拳銃等の取扱いには一定の握力が不可欠であることから、握力を復活させる。

報告事項 3

退職手当支給制限処分に関する兵庫県教育委員会からの意見照会の件

任用課長が、標記意見照会について内容等を報告した。

(委員)

学校の備品の購入手続や管理体制に問題があるのではないか。教育委員会がどのような再発防止策を講じたのかを確認する必要がある。

報告事項 4

任命権者が行った処分

任用課長が、知事及び教育委員会が行った 4 件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

(委員)

飲酒運転は職員としてあるまじき行為であり、任命権者は防止の徹底を続ける必要がある。

(事務局)

毎年発出される綱紀肅正通知において飲酒運転の絶対禁止を含む交通法規の遵守を求めており、各所属の職場会議等でも周知徹底を図っている。

閉 会